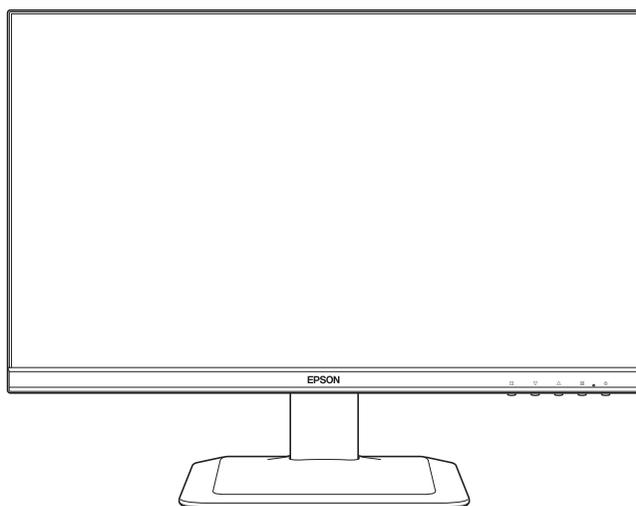


21.5 型液晶ディスプレイ

取扱説明書（操作編）



LD22W94L

ご使用前に

- ご使用の際は、必ず本書をよくお読みください。

目次

本書中の表記	3
各部の名称	4
前面	4
背面	5
電源の入れ方 / 切り方	6
使用時の確認事項	7
液晶パネル	7
省電力機能	7
表示する	8
解像度の変更	8
自動画面調整（アナログ接続時）	8
複数のコンピューターの画面を切り替えて表示する	8
音声を出力する	9
OSD メニューで調整する	10
OSD メニューの起動と操作	10
メニュー画面の詳細	13
お手入れ	21
収納するときは	22
困ったときは	24
修理を依頼する前に	25
機能仕様一覧	26
プリセットタイミング（アナログ接続時）	27

本書中の表記

本書で使用している記号について説明します。

安全に関する記号

本書では次のような安全に関する記号を使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

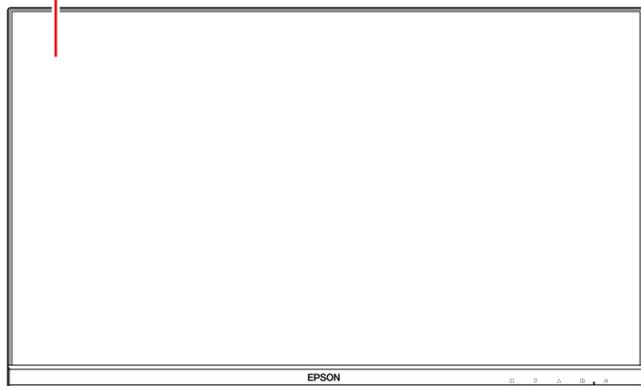
	本書内の参照ページを示します。
	別紙を示します。
	マニュアルの名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』

各部の名称

本機の各部の名称を記載します。

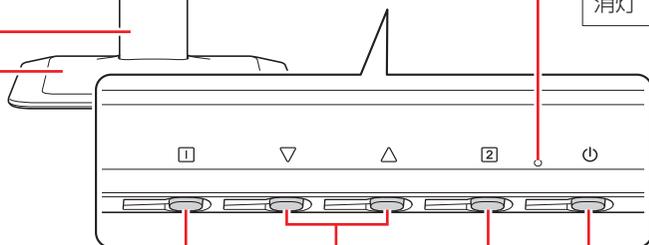
前面

●液晶パネル



●ネック

●台座



●① ボタン
👉 p.8、10

●▽ ボタン / ▲ ボタン
👉 p.9、10

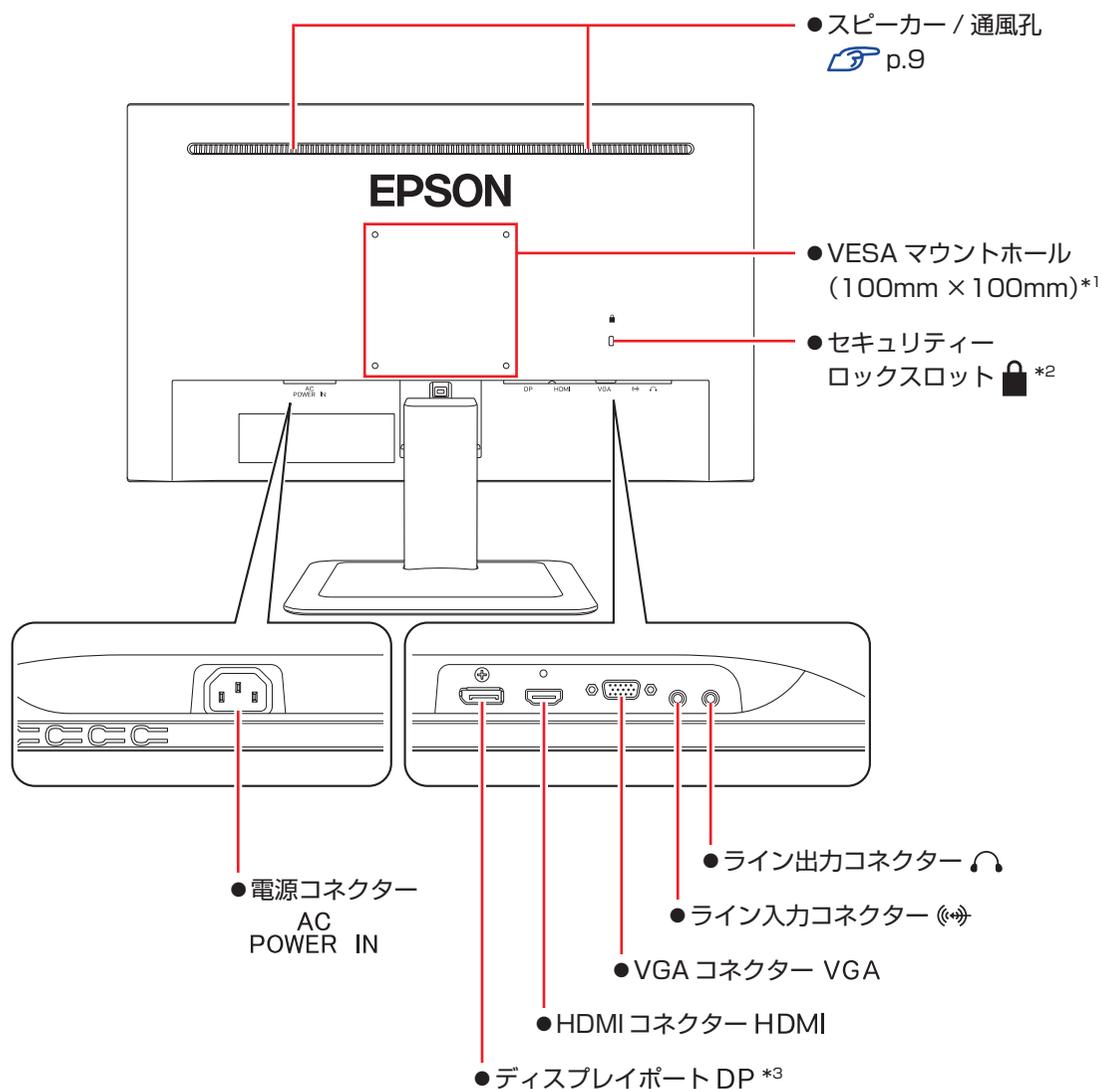
●② ボタン
👉 p.8、10

●電源表示ランプ 👉 p.6、7

ランプ表示	本機の状態
点灯 (緑色) *	通常動作
点灯 (オレンジ色)	スタンバイ (入力信号なし)
消灯	電源オフ

●電源スイッチ ①
👉 p.6

* OSDメニューで「LED OFF」に設定している場合、ランプは緑色に点灯しません。
👉 p.20「設定メニュー」



*¹ VESA 規格に対応した機器を取り付けることができます。

*² 市販の盗難抑止ワイヤー（セキュリティーロック）を取り付けることができます。

*³ DP ケーブルを抜くときは、ラッチを押しながら引き抜いてください。

電源の入れ方 / 切り方

本機の電源の入れ方、切り方について説明します。コンピューターの電源の入れ方、切り方は、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

電源を入れる

電源を入れる手順は次のとおりです。

- 1** 本機右下面の電源スイッチ（）を押して、電源を入れます。
本機の電源表示ランプが緑色に点灯します。
※OSDメニューで「LED OFF」に設定している場合、ランプは緑色に点灯しません。
 p.20「設定メニュー」
- 2** コンピューターの電源を入れます。
画面が表示されます。
※本機への入力信号が無い場合、画面は表示されず、電源表示ランプがオレンジ色に変わります。ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
 p.24「困ったときは」

電源を切る

電源を切る手順は次のとおりです。

- 1** コンピューターの電源を切ります。
画面表示が消え、本機の電源表示ランプがオレンジ色に変わります。
- 2** 本機右下面の電源スイッチ（）を押して、電源を切ります。
本機の電源表示ランプが消灯します。

※ 電源連動機能を設定している場合は、コンピューターで作業中のデータを必ず保存してから本機の電源スイッチを押して電源を切ってください。

電源連動機能（HDMI 接続時）

本機は電源連動機能に対応しています。電源連動機能に対応しているコンピューターと接続すると、本機の電源スイッチで、コンピューターの電源をオン / オフできます。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

使用時の確認事項

本機をお使いになる前に、下記の確認事項を必ずお読みください。

液晶パネル

液晶パネルは、表示する条件により斑点や色むらが目立つ場合があります。また、液晶パネルは非常に高い精度で作られています。ごくわずかに画素抜けや常時点灯する画素が存在する場合があります。いずれの場合も、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。



参考

液晶パネルのドット抜け基準値

本機の液晶パネルのドット*抜け基準値は、5個以下です。これは、全ドットの0.00008%以下に相当します。

*「ドット」は副画素（サブピクセル）を指します。液晶パネルでは、1個の画素がRGBの3個の副画素で構成されています。

本機の場合は、6,220,800個の副画素があります。本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2に従って、副画素単位で計算しています。

省電力機能

本機の電源が入っていても、コンピューターの電源が切れていたり、コンピューター側が省電力状態になっていたりして本機への入力信号が無い場合は、本機は自動的にスタンバイ（画面表示をしない）状態になり、電力消費を抑えます。

コンピューター側の省電力機能については、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

本機の各動作状態におけるランプ表示は次のとおりです。

本機の状態	電源表示ランプ
画面表示	点灯（緑色）*
スタンバイ（入力信号なし）	点灯（オレンジ色）
電源オフ	消灯

* OSDメニューで「LED OFF」に設定している場合、ランプは緑色に点灯しません。

p.20 「設定メニュー」

表示する

本機とコンピューターを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピューターに読み込まれ、すぐに表示することができます。

解像度の変更

本機の最大解像度は、1920 × 1080 です。

解像度の変更は、接続するコンピューターの画面設定で行うことができます。

変更方法は、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

自動画面調整(アナログ接続時)

自動画面調整とは、画面表示を自動で最適な状態に調整する機能です。

接続するコンピューターを変更した場合などに行ってください。

デジタル接続の場合は必要ありません。

自動画面調整を行うと、次の項目が調整されます。

・クロック ・フェーズ ・水平位置 ・垂直位置

調整時の確認事項

調整は次の状態で行ってください。

- ・本機の電源投入時から 30 分以上経過（動作が安定）後
- ・Windows デスクトップ画面などを表示した状態



制限

デスクトップ画面の背景が黒色の場合は、自動画面調整を行っても正常に調整されることがあります。黒色以外の背景を使用して調整を行ってください。

自動画面調整を行う

自動画面調整は、OSD メニューの「自動画面調整」で行います。

p.10 「OSD メニューの起動と操作」

p.13 「メインメニュー」 - 「自動画面調整」

複数のコンピューターの画面を切り替えて表示する

本機はコンピューターを 3 台接続（マルチ入力）して、それぞれの画面に切り替えて表示することができます。

画面の切り替えは、OSD メニューの「入力選択」画面で行います。

「入力選択」画面の表示方法は、次の 2 つです。

- ボタンを押す
- ボタンを押して、メインメニューから「入力選択」を選択する
 p.16 「入力選択」

音声を出力する

オーディオ / HDMI / DP 接続すると、本機のスピーカーからコンピューターや AV 機器からの音声を出力することができます。

音量を調節する

音量の調整は「オーディオ調整」で行います。

- ▽ または △ ボタンのどちらかを押し
オーディオ調整が表示されます。



<オーディオ調整>

「音量」項目が選択されている状態で [2] ボタンを押して決定

音量を大きくする：△ ボタンを押す

音量を小さくする：▽ ボタンを押す

調節後そのまま放置するか、[1] ボタンを押すと、メニューが終了します。

音声をミュート（消音）する

音声のミュート（消音）は、次のどちらかの方法で行います。

- ▽ ボタンと △ ボタンを同時に押す
ミュート（消音）アイコン、または消音解除アイコンが表示されます。
押す度にミュート（消音）の設定と解除が切り替わります。
- [1] ボタンを押して、メインメニューの「オーディオ調整」 - 「ミュート」を選択する
 p.10 「OSD メニューの起動と操作」
 p.17 「オーディオ調整」

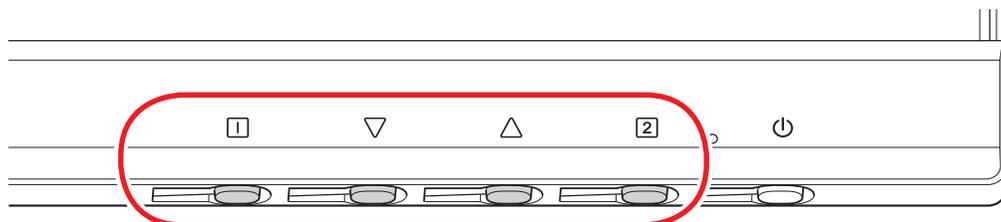
OSD メニューで調整する

画面に関する設定は、OSD メニューで行います。
調整項目の詳細は、[🔗 p.13 「メニュー画面の詳細」](#)をご覧ください。

OSDメニューの起動と操作

起動や操作には、次の4つのボタンを使用します。

・**□** ボタン ・**▽** ボタン ・**△** ボタン ・**②** ボタン



OSDメニューの表示（起動）

OSD メニューの表示（起動）方法は、次のとおりです。

- 1** 電源が入った状態で、**□** ボタンを押します。
メインメニューが表示されます。



調整項目の操作

サブメニューに調整項目がある場合の操作は、次の手順で行います。

- 1 △、▽ ボタンで項目を移動し、[2] ボタンで選択（決定）します。
- 2 △、▽ ボタンで値を調整し、[2] ボタンで値を決定（調整を終了）します。



<ピクチャー調整画面>

OSD メニューの終了

OSD メニューの終了方法は、次の2つです。

- [1] ボタンを押す
(サブメニューの場合は [1] ボタンを複数回押します。)
- そのまま放置する (初期値は 15 秒)

OSD メニューのロック

OSD メニューの設定変更を制限したい場合は、ロックすることができます。

OSD メニューのロックとロック解除は、次のボタン操作で行います。

- [1] ボタンと △ ボタンを同時に約5秒長押しする
ロックするときは、「OSD ボタンロック」と表示されるまで押し続けます。
ロックを解除するときは、「OSD ボタンロック解除」と表示されるまで押し続けます。

メニュー画面の詳細

OSD メニューで表示される各メニューの項目を説明します。

メインメニュー



メインメニューでは、次の項目を選択できます。

項目		内容
自動画面調整  p.8		VGA (アナログ) 接続時にクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に最適な状態に調整します。
ブルーライト調整  p.14		ブルーライトを低く調整する設定を行います。 ※「カラー調整」の「i - Style Color」が「オフ」の時のみ設定可能です。
ピクチャー調整  p.15		コントラストや輝度の調整、エコモードの設定を行います。 ※ 次の場合のみ設定可能です。 ・「ブルーライト調整」が「オフ」のとき ・「カラー調整」の「i - Style Color」が「オフ」のとき
入力選択  p.16		入力画面の設定を行います。
オーディオ調整  p.17		音量に関する調整を行います。
カラー調整  p.18		色合いに関する調整を行います。 ※「ブルーライト調整」が「オフ」の時のみ設定可能です。
インフォメーション 		本機の情報を表示します。表示される情報は次のとおりです。 ・解像度・水平周波数・垂直周波数・ドットクロック・モデル番号・入力
マニュアル画像調整  p.19		画像に関する調整を行います。
設定メニュー  p.20		OSD メニューの表示に関する調整を行います。
メモリーリコール 		OSD メニューの設定を初期値に戻します。

ブルーライト調整



ブルーライト調整では、次の項目を設定できます。

※「カラー調整」(p.18)の「i - Style Color」が「オフ」の時のみ設定可能です。

は初期値

項目	内容	低減度
オフ	ブルーライトの調整を行いません。	—
1	ブルーライトを低減します。	低
2		高

※ オフ設定時のみ、「カラー調整」(p.18)を行うことができます。

ピクチャー調整



ピクチャー調整では、次の項目を設定できます。

※ 次の場合のみ設定可能です。

- 「ブルーライト調整」(p.14) が「オフ」のとき
- 「カラー調整」(p.18) の「i - Style Color」が「オフ」のとき

は初期値

項目	内容
コントラスト	画面のコントラスト（明暗比）を調整します。
輝度	画面の輝度（明るさ）を調整します。 ※ 「エコモード」が「オフ」の時のみ設定可能です。
オーバードライブ	動画再生時の残像感を低減します。 オフ / 1 / 2
エコモード	画面の輝度を 50（最大設定値の半分）に設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> : エコモードオン <input type="checkbox"/> : エコモードオフ エコモードのオン/オフは、 <input type="checkbox"/> ボタンと <input checked="" type="checkbox"/> ボタンを同時に 3 秒以上タッチすることで簡単に切り換えることもできます。 タッチする度にオン/オフが切り替わります。

入力選択



入力選択では、次の項目を設定できます。

■ は初期値

項目	内容
VGA	VGA ケーブルで接続したコンピューターの画面（アナログ）を表示します。
DP	DP ケーブルで接続したコンピューターの画面（デジタル）を表示します。
HDMI	HDMI ケーブルで接続したコンピューターの画面（デジタル）を表示します。
Auto	接続したコンピューターの画面を自動的に表示します。

入力選択は、次の操作で簡単に表示することもできます。

- [2] ボタンを押す

オーディオ調整



オーディオ調整では、次の項目を設定できます。

 は初期値

項目	内容
音量	本機から出力される音声の音量を調整します。
ミュート	本機の音声出力をミュート（消音）に設定、または消音設定を解除します。 <input checked="" type="checkbox"/> ：ミュートオン <input type="checkbox"/> ：ミュートオフ ミュート（消音）の設定と解除は、簡単なボタン操作で行うこともできます。  p.9 「音量を調節する」
HDMI/DP Audio	HDMI/DP と Line - In のどちらから音声入力するかを設定します。

オーディオ調整は、簡単なボタン操作で表示することもできます。

- ▽ または △ ボタンのどちらかを押す

カラー調整



カラー調整では、色調を次の項目から選択できます。

※「ブルーライト調整」(p.14)が「オフ」の時のみ設定可能です。

は初期値

項目	内容
クール	画面表示を昼光色より青みがかった色調にします。
ノーマル	画面表示を標準的な色調にします。
ウォーム	画面表示を昼光色に近い自然な色調にします。
ユーザーカラー設定	赤、緑、青の各設定値を変更して、お好みの色調に調整できます。
i - Style Color	画面の内容にあわせて、色合いや輝度、コントラストを設定したモードを選択できます。 オフ / ゲーム / 映画 / 風景 / テキスト オフ設定時のみ、「ピクチャー調整」(p.15)を行うことができます。

マニュアル画像調整



マニュアル画像調整では、次の項目を設定できます。

は初期値

項目	内容
水平 / 垂直位置	水平位置：表示画面を左右に移動して調整します。 垂直位置：表示画面を上下に移動して調整します。 ※ VGA (アナログ) 接続時のみ設定可能です。
クロック	表示画面に縦縞状のノイズが入っている場合に調整します。 ※ VGA (アナログ) 接続時のみ設定可能です。
フェーズ	画面のにじみや、ちらつきがある場合に調整します。 ※ VGA (アナログ) 接続時のみ設定可能です。
シャープネス	シャープネス (輪郭強調) を調整します。 ※ 解像度 1920 × 1080 で表示している場合は、選択できません。
画面モードの調整	表示する画面のモードを選択します。 アスペクト比 : 次の解像度で表示している場合に実行可能で、その解像度のアスペクト比 (4 : 3 または 5 : 4) で表示します。 640 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 フルスクリーン : 全画面に表示します。

設定メニュー



設定メニューでは、次の項目を設定できます。

は初期値

項目	内容
言語選択	OSD メニューの表示言語を設定します。 English/日本語
OSD 位置	OSD メニューの表示位置（水平位置と垂直位置）を調整します。
OSD 表示時間	OSD メニューを表示させる時間（秒）を次の 4 つの値から設定します。 5/15/30/60
OSD 背景	OSD メニューを透過表示にします。 <input checked="" type="checkbox"/> ：透過表示する <input type="checkbox"/> ：透過表示しない
Auto Power OFF	コンピューターの電源を切ったときに、自動的にディスプレイの電源を切ります。 OFF：ディスプレイの電源は切れません。 5分/30分/60分：コンピューターの電源を切ってから、ディスプレイの電源が切れるまでの時間を設定します。
LED OFF	電源表示ランプ（緑色）を消灯します。 <input checked="" type="checkbox"/> ：LED オフ <input type="checkbox"/> ：LED オン
HPD 設定	HPD 信号の動作を設定します。HDMI または DP 接続時に電源を入れ、画面が表示されない場合は設定を変更してみてください。 Type-1 (HDMI) / Type-2 (DP) ※デジタル接続時のみ設定可能です。

お手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

本機の外装の汚れやホコリは、水で薄めた中性洗剤を染み込ませたやわらかい布をよく絞って、軽く拭き取ってください。

！ 制限

- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

液晶パネル部分

液晶パネルについた汚れやホコリは、乾いた布やティッシュペーパーなどで軽く拭き取ります。水や洗剤などは使わないでください。

通風孔

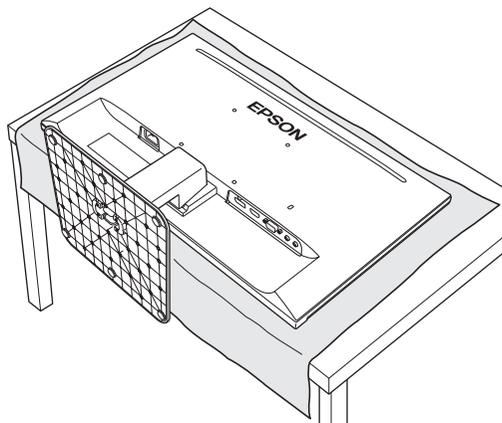
通風孔にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。

収納するときは

本機を梱包箱に収納するには、本体からスタンドを外します。
この作業は、ケーブル類をすべて取り外してから行ってください。

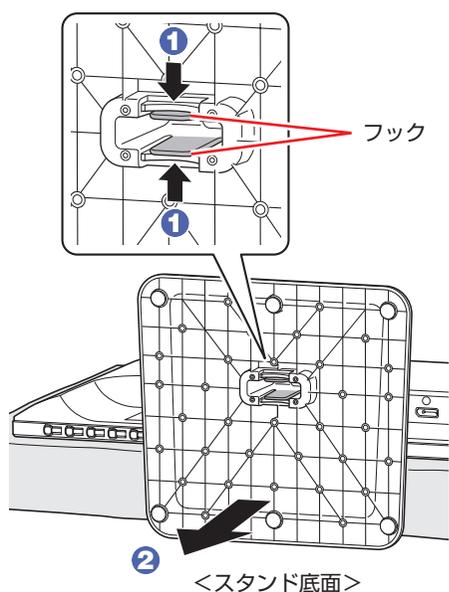
スタンドの取り外し

- 1** 本機の前面側を下にして、図のように机の上に倒します。
液晶パネルを傷つけないよう、机の上に薄い布などを敷いておいてください。



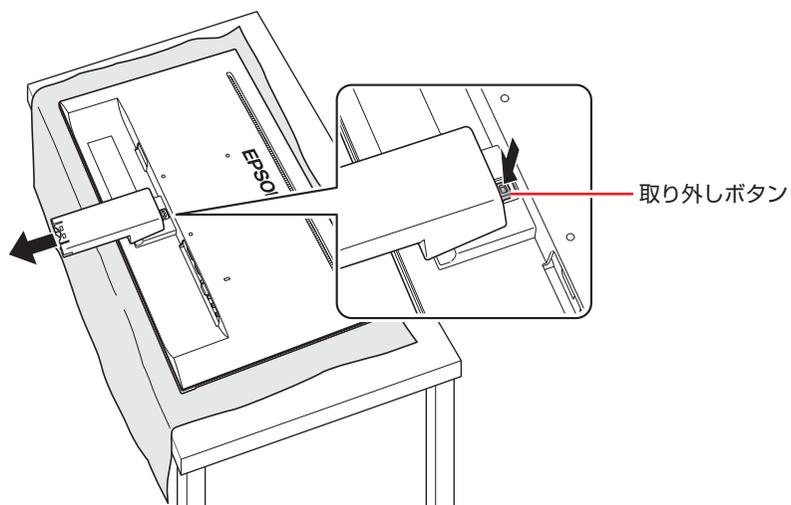
- 2** 台座を外します。

- 1** 底面にある2つのフックを、矢印の方向（内側）に押した状態で、台座を手前にずらして固定を外します。
- 2** 少しずつ手前にずらしながら、台座を引き抜きます。



3 ネックを外します。

背面にある取り外しボタンを押しながら、ネックを引き抜きます。



これで、スタンドの取り外しは完了です。

困ったときは

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合、参考にしてください。

下記の対処方法でも改善されない場合は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。

現象	確認と対処
画面になにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">● 本機の電源が入っている（電源表示ランプが点灯している）かどうか確認してください。 ※ OSD メニューで「LED OFF」に設定している場合、ランプは緑色に点灯しません。  p.20 「設定メニュー」● 電源表示ランプがオレンジ色に点灯している場合、コンピューターの電源が入っているか確認してください。 コンピューターの電源が入っている場合は、省電力状態の可能性があります。キーボードやマウスなどを操作してみてください。● 電源コード、ケーブルなどが、正しく接続されているか確認してください。 また、コンピューターと本機の電源を切ってから、ケーブルを接続しなおしてみてください。● コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。  p.27 「プリセットタイミング（アナログ接続時）」● OSD メニューの「入力選択」で、入力方式が合っているか確認してください。  p.16 「入力選択」● OSD メニューの「HPD 設定」を変更してみてください。  p.20 「設定メニュー」
画面がちらついたり、乱れたりする。	<ul style="list-style-type: none">● コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。  p.27 「プリセットタイミング（アナログ接続時）」● 本機を VGA（アナログ）接続で使用している場合は、自動画面調整を行ってください。  p.8 「自動画面調整（アナログ接続時）」● お使いのコンピューターがリフレッシュレートを変更できる機種の場合は、周波数を変更してみてください。

修理を依頼する前に

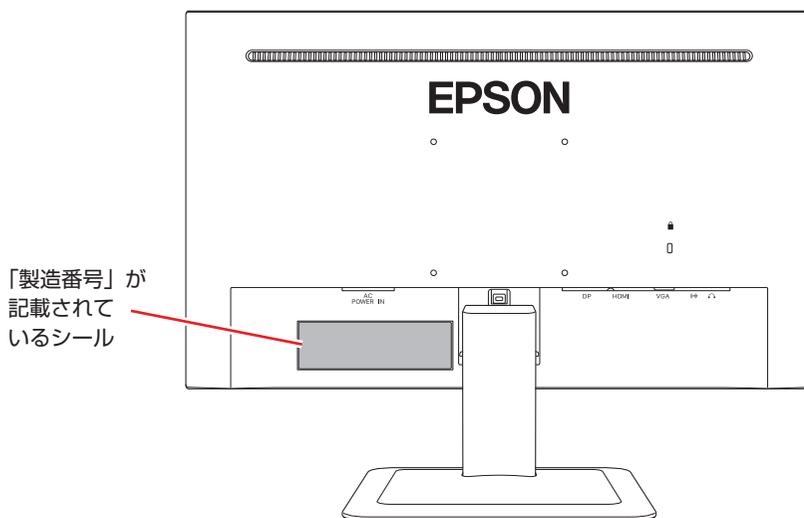
修理を依頼する前に、 p.24 「困ったときは」をよくお読みください。また、お使いのコンピュータのマニュアルもご確認ください。

それでも問題が解決できない場合は、 **別紙** 『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。修理受付窓口へ修理をご依頼ください。

製造番号の確認

ご連絡いただく前に、本機背面に貼付のシールで本機の「製造番号」を確認しておいてください。お問い合わせや修理受付の際に必要となります。

シールの位置は、下記のとおりです。



機能仕様一覧

型番	LD22W94L		
サイズ	21.5 型 (可視域対角 約 55.0cm)		
パネル方式	カラー TFT		
液晶タイプ	ノングレア		
画素ピッチ	0.24825mm × 0.24825mm		
最大解像度	1920 × 1080		
最大表示色	約 1,677 万色		
同期周波数	水平 : 30 ~ 82kHz / 垂直 : 55 ~ 76Hz		
最大輝度	250cd/m ²		
コントラスト比	1000 : 1		
応答速度	約 14ms (オーバードライブオン時 約 9ms ※ Gray to Gray)		
視野角	水平 : 178° / 垂直 : 178°		
表示画面サイズ (横×縦)	約 476mm × 約 268mm		
調整機能	アナログ (VGA)	自動画面調整、ブルーライト調整、ピクチャー調整 (コントラスト、輝度、オーバードライブ、エコモード)、入力選択 (VGA、DP、HDMI、Auto)、オーディオ調整 (音量、ミュート)、カラー調整 (クール、ノーマル、ウォーム、ユーザーカラー設定、i - Style Color)、インフォメーション、マニュアル画像調整 (水平 / 垂直位置、クロック、フェーズ、シャープネス、画面モードの調整)、設定メニュー (言語選択、OSD 位置、OSD 表示時間、OSD 背景、Auto Power OFF、LED OFF)、メモリーリコール	
	デジタル (DP/HDMI)	ブルーライト調整、ピクチャー調整 (コントラスト、輝度、オーバードライブ、エコモード)、入力選択 (VGA、DVI、HDMI、Auto)、オーディオ調整 (音量、ミュート、HDMI/DP Audio)、カラー調整 (クール、ノーマル、ウォーム、ユーザーカラー設定、i - Style Color)、インフォメーション、マニュアル画像調整 (シャープネス、画面モードの調整)、設定メニュー (言語選択、OSD 位置、OSD 表示時間、OSD 背景、Auto Power OFF、LED OFF)、HPD 設定 (Type-1、Type-2)、メモリーリコール	
入力信号	アナログ	RGB (同期 : セパレート)	
	デジタル	TMDS	
入力端子	アナログ	VGA	ミニ D-sub 15 ピン
	デジタル	DP	Display Port 20 ピン
		HDMI	HDMI 19 ピン (HDCP 対応)
ライン入力コネクター	ステレオミニジャック		
ライン出力コネクター	ステレオミニジャック		
スピーカー	1.0W + 1.0W		
入力電源	AC100V ± 10% 50/60Hz (電源の入力波形は正弦波のみをサポート)		
消費電力	20W (最大定格)		
温湿度条件	温度 : 10 ~ 35℃ 湿度 : 20 ~ 80% (結露しないこと)		
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	約 488.4mm × 208.3mm × 373.2mm		
本体質量	約 2.9kg		
VESA マウントホールサイズ	100mm × 100mm		
プラグアンドプレイ	VESA DDC/CI		
パワーセーブ	VESA DPMS 準拠		
電源連動機能 (HDMI のみ)	対応		
ヒンジ部チルト角	前 約 4°、後 約 18°		
フリッカーレス	対応		
セキュリティー機能	セキュリティーロックスロット (背面)		

プリセットタイミング(アナログ接続時)

本機には、下記の信号タイミングに対応する最適な画面設定があらかじめ登録（プリセット）されています。



- お使いのコンピューターの解像度などを下記の信号タイミング以外に設定したとき、正常に表示されない場合があります。
- 未対応の信号タイミングが本機に入力された場合、「アウトオブレンジ」と表示され、本機はスタンバイ状態に入ります。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 480	31.4	59.9
	37.8	72.8
	37.5	75.0
720 × 400	31.4	70.0
800 × 600	37.8	60.3
	48.0	72.1
	46.8	75.0
1024 × 768	48.3	60.0
	56.4	70.0
	60.0	75.0
1152 × 864	67.5	75.0
1280 × 720	45.0	60.0
	44.7	59.8
1280 × 768	47.3	59.9
	47.7	59.8
	60.2	74.8
1280 × 1024	63.9	60.0
	79.9	75.0
1360 × 768	47.7	60.0
1366 × 768	47.7	59.7
1400 × 1050	65.3	59.9
1440 × 900	55.4	59.9
	55.9	59.8
	70.6	74.9
1680 × 1050	64.6	59.8
	65.2	59.9
1920 × 1080	67.5	60.0
	66.5	59.9

本機を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本機は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。

本機の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また国外ではその国の法律または規制により、本機を使用できないこともあります。このような国では、本機を運用した結果、罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

有寿命部品について

液晶ディスプレイには有寿命部品が含まれています。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で、約 5 年です。これは、あくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。なお、長時間連続使用など、ご使用の状態によっては早期に、あるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PC リサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://shop.epson.jp/guide/recycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。また、ご意見を伺いたしたいと思います。
4. 運用した結果の影響につきまして、3 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

商標について

本書に記載の社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/